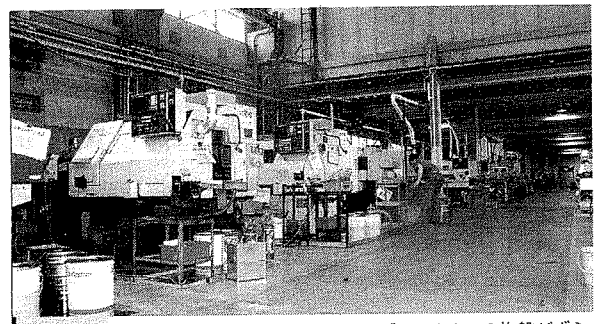
挑む！
加工現場
ドキュメント

100年続く、モノづくり企業へ

ビジョンと成果を全社員が共有

新庄金属工業［精密切削加工］　東大阪市



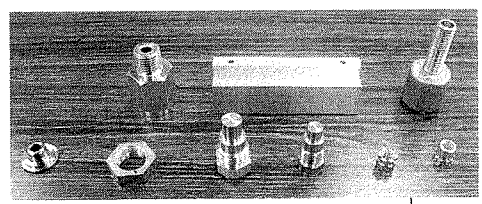
70～80mもの長い通路を挟んで、マシニングセンタやNC旋盤がずらりと並ぶ。西の出入り口から搬入された材料は通路の流れに沿うように、加工、洗浄、仕上げ、検査工程へとまっすぐ進み、完成品として東の出入り口から出荷される。

自動車メーカーの相次ぐ減産、どん底から回復しない半導体業界ー今年上半期の製造業は、近年でも稀に見る大荒れだ。不況の大波をもろにかぶるのは町工場で、ものづくりのメッカ、東大阪でも製造業事業所数が目に見えて減り続けている。

そんな中で、それまでの4倍となる1600坪もの敷地の工場へ3月に移転し、工作機械の数もさらに6台増やした53台になったというのが、精密切削加工業者・新庄金属工業だ。

「規模の拡大を追っての移転ではない」と益山利二社長は言い、「目指すのは100年企業。一人当たりの生産力、品質力、技術力が最も高い『最強工場』を創ることが私たちの目標だ」と目を輝かせる。

「100年企業」「最強工場」を口にする背景には、確かな経営ビジョンがあった。「財務力の弱い町工場は、好不況の波に踊らされがち。父の代では、うちもそうでした」。益山社長が財務体質強化に乗り出したのは4年前、40歳の頃で、「まずは手形決済をゼロにし、自己資本比率を強化したかった」と言う。



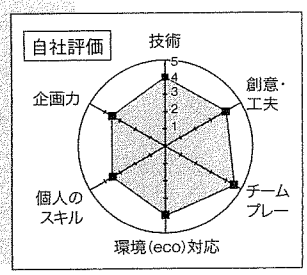
電装部品。中央の直方形部品がハイブリッド車のセンサー内部に使われている部品。

実現したのは今年。目標の5年を待たず、1年前倒しで大阪本社・北海道のグループ会社2社で5億円あった約束手形をゼロにした。3交代制による365日24時間連続稼動を実現することで3倍の生産力を獲得したことが最も大きかった。

従業員のモチベーションを高めるため、成果報酬や決算賞与で利益の3分の1を配分する仕組みも作り上げた。ただ、年初にあった自動車業界のパニック的な在庫調整が響き、2009年度の売上高は前年度比4割減の見込み。経常利益率10%を目標としてきた同社だが、今年は大阪も北海道も「赤字を出さない」が目標という。

「良い時だけでなく悪い時も成果を共有できるのは、毎月きちんと、売上高から変動コストに至るまで徹底して経営実績を公開し、コスト削減や生産性アップの成果を分かりやすい形で基本給以外の報酬として還元してきたからだと思う。皆に経営者意識が浸透したことが、非常に心強い」と言う。

「自動車業界がここまで落ち込むのは初めての経験だが、波があるのはどの業界も同じ」。空気圧部品、半導体装置部品や通信機器、電装部品など様々な分野にユーザー先も業界も分散させることが、経営を安定化させる大事なポイントになっている。



不可能を可能にする開発力

365日24時間連続稼動を生かす自動化工法も独自に開発し、高い評価を受けている。たとえば、ハイブリッド自動車の電装部品。3ミリのバー材を、材料自動供給機を使って複合加工機に入れ、連続的にポケット加工を施し、長さ5ミクロン程度の部品に成形する工法を開発。高品質・低価格を実現したことが採用につながった。

この加工は当初、自動供給機のメーカーでさえ「できない」と断言したが、独自に練り上げた技で実現した。バー材のたわみ、加工機の中に落ちる角度や形状などを全て計算しながら、特殊なチャックに入るよう、試行錯誤を繰り返して工法を創り上げたという。

「通常ならバー材を切断してからMCで加工するところですが、それだと人の手がかかりすぎる。人件費をかけたら、同業者はもちろんアジアに負けると思っていますからね」。自動化を実現したことで、加工のバラつきや漏れもなくなり、精度の同じ部品が「金太郎飴のように」次々に生まれてくる。

また、この部品の場合、全ての角の面を取る仕上げになっているが、同様の加工で出やすいヒゲ状のバリは一切出ない。これまで磨いてきたポケット加工の技術を駆使したために、回路を壊す恐れになるバリがでないことが電装品メーカーの信用を勝ち得る要因にもなった。最近ではハイブリッド自動車向けのみならず、二輪車のセンサー部品の納入もスタートするなど、新需要が生まれだしているようだ。

今、時代が求めています
エコ・省エネ・ローコスト
環境改善工法・省エネ商品
◆夏30℃以上室温が上がらない建物
◆大幅な省エネ・冷暖房コスト50～30%減
省エネ大スパン(最大70m)ローコスト「冷蔵庫の建物」
◆特許工法の海外ローコスト鉄骨造システム
魔法びんの原理で省エネ
◆室内環境改善　◆高低温放熱封じ込め
劣化スレート・鋼板建物・屋外タンクの改修
◆ローコスト強化長期延命無足場改修工法
窓ガラス省エネ改修
◆省エネUVカット断熱ペア窓
蛍光灯照度アップ・本数大幅削減で省エネ
◆ライトアップシート&ダミー蛍光管
無料エネルギー診断・無料相談承ります / 提携企業様募集中
省エネ・環境コンサル
株式会社 桑本総合設計
TEL:0859-34-5811/FAX:0859-34-5812
http://www.eco-kuwamoto.co.jp/